

日時 2019年12月8日(日)10時から11時50分、18時から19時30分

場所 つくし野コミュニティセンターホール

参加者

内訳 \ 丁目		1・2	2	3	4	合計
午前	参加者数	10	15	11	14	50
	内建設委員	0	4	2	2	8
夜間	参加者数	13	7	9	3	32
	内建設委員	2	4	3	2	11
合計	参加者数	23	22	20	17	74
	内建設委員	2	8	5	4	11

提出資料 自治会館建設委員会の検討内容と事業計画(案) (12月版)
事業計画説明会スライド

- 建設委員会鶴養委員長から、事業計画(案)について資料に基づき以下の項目についての説明があった。(約25分)
①建設計画の概要 ②事業計画(案)とりわけ資金調達は4自治会総会の承認が必要 ③建設費用と資金計画
④運営費用、修繕積立金と採算見込み ⑤管理運営組織と規定(案) ⑥アンケートの実施・結果と今後の計画

- 質疑応答は、延べ20人以上が発言-内容ごとに整理すると以下の通り。(詳細は議事録参照)

会館のロケーション(立地)について

- 通学路にあたり児童の安全確保策、路上駐車対策など。→ 駐車場3台だが、常時駐車は避ける。荷物運搬、送り迎えに限定。
- 巡回タクシーは近隣を通るのか。→ 「杉山神社下」という停留所が200~300mのところ設置予定。
- 地盤は堅固か。→ 2004年に浸水しているが、その後排水施設の降水量60mm/時間対応の大規模改修実施。
- 4丁目などから遠い→ 確かに山坂があり、そうした意見は聞く。とは言え、近くの杉山会館の催しに4丁目から参加している方もいる。ニーズがあれば、利用する。

利用数の確保と採算性について

- つくし野コミュニティセンターが近くにあり、採算にあう利用回数を確保できるのか。→ 確かに、営業努力をせずになすがままでは、収支は厳しい。定期利用優遇や需要開発、イベント企画などで、会館の魅力を引き出し、親しまれ利用される施設にすることが不可欠。
- 人口も少なく、高齢化が進む中で、利用数を増やすのは困難。
- 皆さんの話の中で必ず採算の話がでるが、収支の話だけで判断するのはどうか。

箱物を新たに作るのではなく既存施設の活用は

- コミュニティセンター、寺社、教会、空き家などの活用で足りるのではないか。

運営組織、ボランティアについて

- 運営委員のなりては?→ 運営委員は各自治会から選出される必要があるが、自治委員である必要はない。やる気も力もある方を、自治会が選出するなら何の問題もない。やってもいいという方が現にいる。
- ボランティア、特に若い人たちが協力してくれるのか、10~20年後も心配している。
- ボランティアは善意で、病気にもなる。そこを前提に話をするのは無理がある。
- この地域には活力あるボランティアはたくさんいる。

アンケートについて

- 短所の部分が十分に伝わらないで、すぐにアンケートなると理解がむづかしい。
- アンケートには、良い面と不安な面と分かりやすい資料を添えてほしい。
- 2丁目の資料をアンケートに添付してほしい。
- ここのデメリットのところ、「運営は誰か?掃除、クレームは誰か?」というだけでは、みんな不安になってしまわないか。→ この間の4自治会、ふれあい基金運営などへの説明・討議、住民説明会での議論などを踏まえて、住民のみなさんの意向を把握するためにアンケートは不可欠。説明会后、建設委員会で調整して誘導にならないように工夫を施した簡素なアンケートを実施する。ネットの活用や情報提供に尽くす。

その他の意見

- 金があり土地がある今を逃したら自治会館はできない。自治会が自治会館を作る資金を負担するという話が一切ない。1700世帯あるから自治会費から一世帯年間200円負担すれば34万円、300円ならば51万円。たいしたことではない。こんないいせっかくの機会を逃すということはない。

以上